梅林寺四百年
大名有馬家の菩提寺

梅林寺は、山号を江南山、如意輪観音を本尊とする臨済宗妙心寺派の古刹で、九州一の修行道場としても知られる。旧久留米藩21万石の城下、上・中級藩士が屋敷を連ねた京隈小路の西手、筑後川沿いの小山、すなわち江南（大河の南）に立地する。

元和7年（1621）、有馬豊氏が丹波国福知山（現京都府福知山市）から久留米藩初代藩主として入封するのに伴い、福知山の瑞巌寺をこの城下西南の要の地に移した。禹門玄級を開山とし、初め大龍寺と称する。

寛永3年（1626）、豊氏が父則頼の墓を播磨国三木天正寺（現兵庫県三木市）から改葬し、その法名「梅林院殿」より寺号を梅林寺と改めた。初代豊氏、2代忠頼、7代頼徳、10代頼永を埋葬し、他の歴代藩主を供養する。江戸時代の約250年、11代続いた21万石大名の菩提寺として明治維新を迎えた。

有馬家墓所は、寺域でも奥まった本堂裏手に位置する。石垣で段状に整地された墓所には、5棟の霊屋（国指定重要文化財）、7基の藩主三重塔、一族の石塔などが並び、大名有馬家の偉容を今に伝える。

初代禹門以来、憲幢威烈・羅山玄磨・無学文奕・猷禅玄達などの高僧が出ている。絹本著色釈迦三尊像（国指定重要文化財）をはじめとする数多の什宝は、悠久の仏の美と祈りを映す。

梅林寺外苑は、昭和33年（1958）、開山350年忌に際し竣功した。約30種・500本の梅の木、躑躅や数種の緑樹は、寺域の紅葉・銀杏とあわせて移りゆく四季景色を魅せる。

山門をくぐると、常緑の松樹と白い築地は美しく、一般の参観を遠慮する堂宇は静かな緊張をたたえる。その先へと歩みを進める人々に、梅林寺400年の時が語りかける。

梅林寺歴代住職

開山 禹門玄級
南化玄興第一の高弟。有馬豊氏の遠江国横須賀城主時代より、その帰依を受ける。慶長11年（1606）示寂

2世 湘山玄澄
梅林寺創建に際して、実際に事に当たる。法泉寺（久留米市京町）の開山。

3世 澤雲紹集

4世 方室玄杲
延宝2年（1674）、春林院（有馬豊氏）の三十三回忌・五十回忌法要を行う。

5世 岱堂唯全
京隈小路生まれ。

6世 檀巌紹樹
京隈小路生まれ。春林院の百年忌法要を行う。

7世 滔天玄鱗
八女郡本分村（八女市）生まれ。福聚寺（久留米市合川町）開山古月禅材の招聘に携わる。

8世 天山玄詰

9世 憲幢威烈
八女郡本分村生まれ。梅林寺内に禅堂を初めて設け、徒弟を集めて指導する。筑前の仙厓義梵と親交厚く、梅花の盆栽を愛した。外苑に大乗妙典一石一字塔が伝わる。

10世 令州玄令

11世 規幢唯定

12世 悦堂玄戒

13世 羅山玄磨
開山堂を再建する。京都妙心寺住職を経た後、梅林寺に臨川亭を設けて隠居。高僧の名高く、真木和泉守も時折り参禅した。

14世 無学文奕
廃仏毀釈による仏教受難の時代に東奔西走して対処した。明治7年、妙心寺管長に選ばれる。

15世 猷禅玄達
廃藩後荒廃した梅林寺を復興し、九州第一の禅林道場にした。書画を能くし、その達磨絵は珍重された。三生軒に隠居。

16世 瞎禅東達

17世 玄照東瀏
梅林寺外苑の整備を進める。

18世 東海大光
妙心寺管長を務める。

19世 現住 東海大玄

墓地の人々

梅林寺には、久留米藩士や郷土の著名人の墓もある。

可児三成
京隈小路の久留米藩士。慶応4年（1868）、16歳の時、戊辰戦争に伴い関東出張を命ぜられる。享年58。

可児三成（鍋喜久）の写真
慶応4年9月7日撮影
（久留米市教育委員会収蔵）

小河真文（池田八束）
久留米藩士、尊攘派志士。久留米藩参政・不破美作を暗殺する。明治4年、藩難事件で斬罪に処せられた。墓には「池田八束」という変名が刻まれている。

小川トク（生前墓）
武蔵国出身、慶応4年、27歳の時に鳥飼村（久留米市）に移住。縞織りに成功、「久留米縞」と名付けて売り出し好評を博す。明治20年8月25日、トクの威徳を偲び、門弟らが梅林寺に生前墓（寿墓）を建立した。

小川トクの生前墓
（寄せ墓入口の階段を下りた付近に建っている）

星野房子
明治元年、通町に生まれる。久留米中学校（明善高校の前身）に学んだ。男女共学以前の卒業生で唯一の女性。男女平等の思想を抱き、女子教育の必要性を説く。久留米婦人会を組織、久留米高等女学校の創設に尽力した。また、久留米で初の幼稚園、女子職業学校などを開設した。享年84。

豊田勝秋
工芸家（金工）。明治40年、荘島町に生まれる。中学明善校を卒業。同級生に古賀春江（画家）がいた。東京美術学校（現東京芸大）鋳造科に進む。現代工芸草創期の旗手として活躍する。久留米帰郷後は、後進の育成に努めた。久留米市内に、真木和泉守像（水天宮境内）、青木繁歌碑（篠山神社境内）など多数の作品が所在する。享年75。

問い合わせ
久留米市 市民文化部 文化財保護課
〒830-8520 福岡県久留米市城南町15- 3
TEL 0942(30)9322
FAX 0942(30)9714
E-mail bunkazai@city.kurume.fukuoka.jp
令和２年３月１日
発行 久留米市教育委員会
編集協力 NPO 法人 久留米ブランド研究会